京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

寄書

大なる犯罪の萌芽　旭川

余の知れる人及知らざる人とを問はず韓日に接受せる書状を見るに官衙と云はず會社銀行と云はず商店員と云はず官衙、商店に職を奉ずる人の悉くが公用の封筒、封緘等を使用せり、言ふに其の私用せられたる郵券も同様のものが多かるべし、是れ實に恐るべき罪惡なり、改めずんば此れ軈て大なる犯罪を醸すに至る階梯たるべし。青銅貨一個を盗むの百倍、千金を私すると同一犯罪たるを知る諸君の自ら省みるを促すと共に余は其の監督者及び父兄の諸君を此所に訴はれんことを希望せざるを得ず。

慣はすれば習ひ自ら性をなす、韓人の辛きを食ふて辛きを覺へざるも事例の一也、西人の魚を割き鳥を料理して其の惨を覺へざるも事例の一也、商賈人の潤韓杯を上げて詐欺するも事例の一也、用達封筒郵券等を私して遂に其の非を覺らずんば、次は金庫を探り函底を浚ひ、帳簿を誤魔化して非違を敢せざるに至るは、彼の強窃盗の賊が十度して恐怖の念なきに及ぶを一般にして、斯くして知らず〳〵罪惡の芽萌を培ひ、或は刑餘の人となるなり、恐れて而して慎むべき也。

翻り而して他の子を羂りて不知不識の間に如斯邪道に入らしむるもの多く從來我邦の雇人使用法の缺陷之れを誘致したるものと斷ずるを得べし、即ち官公所は兎に角商店等にありては一定の給料を支給せざりしより筆墨紙等は公々然使用したりし因襲の以て今日に延び、相當の給金を支給せらるゝに至れる今も猶ほ踏襲せられつゝある也、其の原因の那邊にありしかは詮索の外としても此性惰は矯正せざる可らざる也、偶々感ずる所あり貴紙の餘白を藉りて一般雇人の注意を促す。

雜報

多望なる市場

四十年以來不振を極めたる市場は漸く多望なる時機に入らんとす抑もこの兩三年間市場の不振なりし原因とも云ふべきは半島到る處の暴民の蜂起したるため良民の安んじて其の職を營ず能はずして頻みに民力振はず從つて購買力の減退したるを以て市場は如何とも成す能はず徒らに成行を觀望しつゝあり而も一昨年に於ては半島は全く農作見荒にして恰も飢饉の狀態に陷り殊に北韓の如きは救濟會を組織して一時的に飢饉に迫りたる貧民を救濟したる有様なりしは今尙は何人も記憶に存する處なるべしため一昨年の不作は直接昨年の市場に影響を及ぼし半島特有の輸出物たる大豆の如きも例年に比較する時は約五分の一位に過ぎず加ふるに本邦市場は滿州產の入込多きために相場は暴落を來し斯業者は奈何とも做す能はざりしなり然るに夏季に入りて各沿岸地は比較的豐饒なりしため沿岸地方は多少の潤澤を受けしも山間は依然として振はず只黑鉛採掘に從事したる地は山間と雖も韓人は採掘人夫として作業に從ひたるが故に幾分人民購買力を增進したるも半島の大局より見る時は殆んど針の箭程に敢て論ずるに足らざりしなり故に每年八月以後に金巾の買行は八九兩月にて本邦より輸入する高は三百万圓を下らざりしものが昨年の同期は僅かに百六七十萬に過ぎず之れ等より推察するも奈何に韓人購買力の減退せしかを知るに難からず然れども昨冬に於て大豆の歐米輸出は其の實見本に過ぎざりしと雖も人心を向上せしめたる上に於ては實に大なるものにして且つ相場は益々昂騰するばかりなれば韓民の振ふは當たるべし又南清貿易品として第一なる海鼠、牡蠣等も豐なると云へば云へ以て南清貿易は有望なるべし更らに三井物產は黑鉛の大輸出を計畫しつゝあれば斯業も亦隆昌を呈するは疑を容れざる處なるべし此等より推す時は今後の市場は多望たるべし

伯國移民の特典

今回外務省に於て竹村與左衛門氏に募集を許可されたる伯刺西爾移民に對し同國サンパウロ政府に於て十二歲以上八十圓七歲乃至十二歲未滿のもの四十圓三歲未滿のもの二十圓の渡航補費を下付する筈なるが尙今十二歲に滿たざるものと雖も本年四月までに目的地に到着せば滿十二歲に達したるものは矢張り英貨八磅卽ち我八十圓を補助することになりしに就き右に該當する應募者の利益上十二歲相當のものとして取扱ふべく外務省より神奈川縣知事に移牒を發したりと

●行政訴訟印紙廢止

本邦今回の稅制整理案に於ては行政訴訟用印紙の貼用を廢止することゝなり居れるが其の理由は行政訴訟は民事商事の如く人民相互の紛爭にあらずして行政機關の不當若しくは違法處分に對して提起せらるゝものなるが故に國家は寧ろ充分訴訟の余地を與へ人民の權利を保護すると同時に行政機關を監督するの要は既に行政訴訟と同一目的を有する審查請求又は訴願に對する手數料を徵せざる以上は行政訴訟に手數料を徵收するは當を得ずと云ふにあり

●航路開始と清津港

命令航路開始以前に於ては船舶の出入時日一定せざるが爲めに各港との沿岸貿易萎靡として振はざりしが命令航路の開始せられたる後は定期の通り日時の確定せるを以て昨春より漸次增加しつゝある會寧及間島地方よりの輸送大豆其他外國產雜貨等を清津より魚大津明川、城津、鹿湖、新昌、西湖、元山の各港に向け移出するに至り殊に近來發展しつゝある雄基の如きは殆んど其物資の供給を清津に仰ぎつゝある結果該航路開始後各地との沿岸貿易は著しき發展を爲し移入貿易額は約四割を移出貿易額は約二割を增進したりと

●檢擧後の京城民團

民團事件は其後漸々調査進行中なるが該事件發生の爲民團行政の進行上尠からず頓挫を來し居るが如く杞憂するものあるも聞く處によれば過日吏員の大淘汰を斷行したる當座は執務不慣の爲め多少影響を受けたるは事實なるも爾來各員孰れも習熟し現今にては何等支障を感ぜず加之ならず事件の範圍は過去の事實にして寧ろ單純なれば之が爲に將來に影響するが如き事は萬々是なく則ち彼は彼是は是にて依然行政事務の進捗を爲しつゝありと當事者は語れり

地方通信

▲滿州防穀令を發す　吉林暴龍の清國巡撫は同地士民の常食たる高粱等に對して防穀令の內訓を發したりと傳說せられたるが然し未だ公報としては發せざるも內調は事實なるもの〻如し即ち同地方は昨年八月以來霖雨甚だしかりし故河川氾濫し就中吉林の如きは經往數十年になき田畠の大被害を蒙り人民ために飢渴に瀕せるもの續々生ずるの有樣にして殊に目下は酒暦歲晚に際し居れるを以て慘狀を呈するもの尠からずかくの如く食料等に欠乏を告げ居る現狀なるが故之れが間接の保護救濟法として巡撫は其の防穀令を發し以て穀物の輸出を禁じたるものなるべしと浮說頻々として傳へらる（奉天通信）

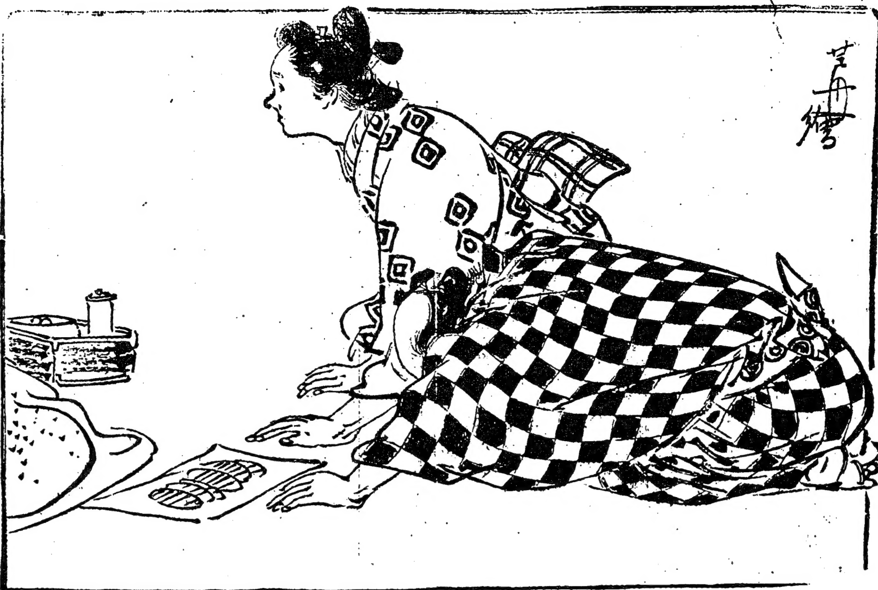
▲在鄉軍人春季大會　當地在鄉軍人團にては來月十一日紀元節の佳日を卜して春季大會を開催する由にて目下夫れ〳〵準備中なるが殊に今期は昨年整期に比すれば約四十名の增員ありたれば現在にては二百名を超過するの盛況なり然るに同團は從來每月醵出すべき團費の如きは兎角延金に行はれずして甚だ遺憾の點多かりしも昨秋に於て一大改革を加へたる結果成績良好となり昨今に至りては團務の整頓も充分となり今後大に發展せんと意氣頗る盛んなり

▲觀察道の新工事　平安南道觀察道にては本年度に着手さるべき新工事の主なるものは鉄山街道なる當地より舍仁に至る約二里豫算二萬五千圓江西より岐陽に至る巨離約三里經費一万五千圓義州街なる安州間に於ける橋梁二十箇所の修繕費四千圓等なるが何れも本年中に竣工せしむべき計畫にて此の關係人員の選定次第着手すべし（平壤通信）

日本銘刀傳

第廿六席　邑井一　講演

み「へ、妾の手の內に三十兩取つたと云ふ相が出て居りますか」正「ウム、出て居る」み「恐ろしいものでれます、ちやんと現はれて居る、いゝところぢやあない、ちやんと現はれて居ります」……妾は其樣なことは申しません、然し妾は其樣な事は出來ませんと申しました、けれども實は旦那樣が博奕に負けて首が廻はらず、大層な借金、妾が諸と云つて紙入を匿くして呉れゝば俺も借金を返すことも出來るし、お前にも一割遣ると是れ〳〵と云ふ御頼み、妾も衣類を一つ買ひたいと思つて居る所でございますから、惡い事とは知りながらも此れお客さんが錢をやつて居られまするうちに隙を見て紙入の中から三十金、密と拔出したに相違ありません、さうして旦那はんは其金を用簞笥の下の抽斗に仕舞ひましたか」正「ウム、さうであらう左樣に違ひない、ちやんとお前の手の內に金は用簞笥の下の抽斗に仕舞つてあると云ふ相が出て居る、惡るいことは出來ないものでございます」傍で聞いて居つた人達はアッと許りに呆れました、金八は見る〳〵うちに顏色異變になつてブル〳〵顫ひ出した、手代の猪之助は突如金八の胸倉を摑へて「ヤイ〳〵テ、テ、手前は太い奴だ、ヨ、能くも俺の金を盜んだな、金を盜んだのはまだしもだ、能く〳〵俺を彼樣に苦しめたのだ、ザ、ザ、殘念ッ」と拳を固めて擲り倒した、正宗は「ア、是れ〳〵さう手荒らいことをしてはなりません、お前さんも能くないのだ、主人の金を持出して婦人などを連れて歩るくなんて甚だ宜しくない、其樣なことをして置きながら人を打擲するなどは怪しからんぢやアないか、然し金八とやらも誠に恐入りましたと後悔致すなら免してやらう、さうでなければ夫れ〳〵領主へ訴出で處分をして貰ふが何うぢやな、私は何を匿くさう天下樣の御番匠、鎌倉の正宗であります」金「ア、夫れでは今天下に名高い日本一の刀鍛冶正宗さんで居らつしやいましたか、知らぬこととは云ひながら惡るいことを致しました、何うぞ御許しを願います」正「イヤさう詫るなら穩便にしてやるが、聯けばお前さんも十手取繩を預かつて居ると言ふではないか、斯樣事が領主樣へ聞えて見さつしやい、迚も安穩では濟みはせぬ、私も餘計なこととは思つたが緣あつて隣座敷でお前さん方の話を聽いて其儘には濟まされぬ私の氣象、依つて此席へ來て見ると、何うもお前さんの樣子が怪しい、左れば易者と僞つて此の女中を試めして見たが、案外此女中が愚直であつたために早速判つたのぢやが、誠にハヤ氣の毒なことを致した」金「何うも惡るいことを致しました、當時評判の高い正宗宗匠なればこそ斯うやつて理非を明白になさるれ力もあると云ふもの、私も隨分惡いこともしましたが、今日のやうなブマなことを致したのは始めてでございます、イヤ全く惡うございました、是からスッカリ改心致します、たみのやお前家へ往つて用簞笥の抽斗から先刻の金を持て來くんな、お前にやつた三兩の金も持て來て呉れ」み「ハイ〳〵畏まりました、旦那はん妾に十兩お呉れなはるでございませうな、もし旦那はん……」金「コレ〳〵何を詰らぬことを言て居るんだ、何でも宜いから早く取て來い」み「でも一端貰つた三兩を返すんですもの、十兩も呉れず、其上三兩まで取上げると云ふのは餘り酷いぢやアありませんか」正「ウム、好し〳〵此の正宗は虛言を云ふものではない約束通り十兩は遣せる」み「ホンに嬉しい……」金「飛んだことを仰有います」猪「では私の金がお蔭樣で返りますから、其內から十兩此女へ遣ることに致しませう」正「夫れには及ばん、私も持合せがあるから遣つても宜しい」おみのは悅んで家へ戾り彼の三十金を持つて歸つて來たそこで、猪之助は無理に正宗を斷はつて自分の金のうちから十金をおみのへ渡しました、おみのは悅ぶ、猪之助も大に悅んで厚く正宗に禮を述べて京都へ立歸つた、金八は土地の蛇のやうに嫌はれて居つたものが、ガラリ變つて善人になり、陰德を施すやうになりました、是皆正宗の德に依るところ、正宗が一生の間に十大善事せと云つて十度大なる善い事をした、是れは正宗十大善事と云つて有名な話、此の猪之助の一件も十大善事の一つであります



京城新報

滿洲劇の開幕(九)

韓半島に及ぼす影響

米國か提議した滿鐵中立問題も各方面の報道によればドウヤラ腰折になりソーだ、併しソコが外交のキワドイ處で中々油斷はならぬ、確り褌を緊めて最後の決心を示して置かねばならぬ。黃禍論の作者が日米兩國間に爭論の種を蒔いて離間を策したことは前々號に述べた通りである、而かも不幸にしてソレが成功した、**太平洋の波荒**くならざらんと欲するも豈得べけんやである。

日米の國交は嘉永年間ペルリ來朝開國以來の國交である、米國最初の公使ハルリスが公明正大の心を以て我國の爲に盡力したのは事實である、開國當初の列國は我の世馴れぬに乘じて何を爲したか知れぬのである、只に夫のみならず米國は我に有形無形の近世文明を紹介し且つ下之關砲擊の償金迄返還して好意を示したのである、我國民上下は該多**紅毛國**中只だ賴むべきは**星條旗**の國**プリシデント**の國なりと信じ不絕善意と感謝との念を以て彼に交はりつゝ來つたのである、近來アンクルサムの我に對する態度一變……思ふに之れ何か仔細が無くては叶わぬのである。米國の我を開國せしめたは我の德とすべきである、ハルリスの盡力、文明の輸入、償金の返還、之皆我に於て感謝すべきである、酬いれば過去五十年間米國に對せる我政府及び國民の態度は**卑屈禮に過ぎ、正理の主張**さへも好んで自ら**枉**げ、苟くも**堂々たる獨立帝國**の採るべき態度で無かつたのである、邦人上下米人に會する毎に口を開けば云ふ**ペルリ**は我**開國の恩人**なり、**ハルリス**は我**外交の恩人**なり、貴國は我が**文明の師**なり、我が**生絲の華客**なり我**茶の華客**なりと、夫も一度や二度なら言ふも諾ならんも過去五十年間**百千萬度**絕わず繰返して言ふに到つては之を聞きたる米國人の**頭腦に如何**なる**印象**を殘すべきか、心ある米人我の**阿諛追從**に顏を負むけ、心なきヤンキー我の**無腸を笑**つて我を侮るに至る、嗚呼**誤**れるかな我の**對米態度**、彼の我を**見縊**る蓋し理の當然であるのである。

日露戰役中記者は官用を帶びてニューヨークに在つた、當時正金の高橋是清氏は**ウォル街**に在つて正に**軍事公債の募集**を始めんとして居た、果然ウォル街の財務機關雜誌は米人の公債應募觀を發表した、曰く「吾人は**バロン金子**に聽かずともペルリが日本を開國した事を知つて居る、日本**皇室の金甌無缺**なることをも知つて居る、**米國傳道會社**が日本に**基督教**を傳道したことをも知つて居る日本の露國に對する戰爭が**正義の戰爭**たることをも知つて居る、併し軍事公債の應募は全然**別問題**である、日本若しウォル街に於て募債を爲さんとせば吾人の滿足に値する**擔保を提供し元利償還の條件**を明に示せ」と常に正義の味方、我開國以來の師なり恩人なりと稱され來つた米人の日露戰役に於ける對日本**同情の程度**は知斯者であつた、當時記者は一身の外に味方なしとの古人の言を切實に感じた、米人を餘りに**買被**つて居た我邦人は餘りに**無邪氣**に失して居た者だとツク〲感ぜざるを得なかつた。

東京電報

▲**中旬の輸入超過** 本月中旬の外國貿易は輸入超過二百十五萬九千圓にして輸出に於て三步輸入に於て一分の減少なり(廿二日)

▲**統監政治質問書** 進步黨所屬代議士大內暢三氏は本日統監政治に關する質問書を提出したり

▲**議員歲費の增額** 昨日樞密院會議にて可決したる議員歲費增加額は三割なり(同上)

▲**提議拒絕の理由** 我政府は昨廿一日を以て米國政府に對して滿洲鐵道中立提議を拒絕する旨回答したるが其理由は我帝國政府は滿洲に於ける鐵道所有を危險なき既得の權利として所有する事を可なりと信ずと云ふにあり(同上)

▲**皇太子妃御避寒** 皇太子妃殿下には本日葉山へ御避寒遊ばさる

▲**進步黨代議士會** 進步黨は本日午前十時より代議士總會を開き地租輕減問題を議したり(同上)

▲**全國農產品評會** 大日本農會第三十九回農產品評會は赤坂三會堂に開會出品總點數二千點入場者多し

歐州電報

▲**英蘭銀行利下げ** 英蘭銀行は今回其利子を三分半に引下げたり(廿二日着)

▲**露國皇后無事か** 露國皇后陛下及皇太子殿下には御重患に罹られたりとの風說ありたるも公式に否定せられたり(同上)

▲**淸國特派員出發** 淸國政府の特派員は聖都を出發模斯科に向へり

雜報

實業學校の新設

(學部次官の談話)

學部にては最初本年度より各道に一箇所宛實業學校を新設したき希望なりしも豫算の削減と共に韓全國にて四箇所を設立する事となれり而して其費用は大部分地方費中より之を支出し國庫よりは應分の補助を與ふる筈なるが右四箇所の地點をいづれに定むべきかに就ては目下精細調查中なるが多分平壤、大邱、全州、咸興に設置せらるゝ事となるべし並に多年の懸案となれる度支部の土地整理は本年より着手すべく既に豫算に編入せられたるが之に從事すべき人員として二三年前より測量專攻者を養成し目下約三百餘名を準備するに至りたるが事業の進捗と共に益々人員を增加する必要あるのみならず測量技師のみにては用を辨じ難き節多し土地整理には精確なる測量と同時に土地の肥沃を鑑別する等農業的智識を必要とするを以て此際實業學校を新設し農業に關する智識の普及を圖るは尤も喫緊事たり殊に學部所轄普通學校卒業生に對して中等敎育を授くるの設備なかる可らず單にこの點より見るも農林に關する實業學校を設置するは機宜を得たる措置也而して度支部の土地整理は民有地に限るのみならず田畑の調查尤も多く之が面積の大なると倶に調查人員も從つて多數を要する次第なるが何分土地整理は前途十年間の長年月を費さゞる可らざる一大事業にして漸を逐ふて進むの外なければ今明兩年は先づ度支部にて養成準備したる測量技師三百餘名にて調查に從事し一昨年より實業學校卒業生をして之を補缺する筈なれば學期は之を二ケ年間とし最初は一學級(五十名乃至六十名)編成の豫定なるが萬事度支部の整理事業と相俟つて學制を設くる由尙上述の平壤、大邱、全州、咸興は比較的廣大なる平野を控へたる地理的關係と農林の智識普及に格好なるとの諸點より既定せられたるものなるが其他に忠南公州、全南光州、慶南晉州、黃海々州の如きも地方費の事業として實業學校の新設を希望し居れり之等に對しても學部は許す限り補助を與へ前記四箇所の實業學校に類似したるものにて一層所在地附近の狀況に適切なる實際的敎育を施さしむる計畫なり尙この以外に郡の事業として實業學校新設を願出でたるもの五六を數ふれど之等に對しては當分補助を興ふる事能はざるべし云々

我海軍と平壤炭

吾邦に於ける無煙石炭は德山及び天草にして德山には海軍の煉炭所あり多大の資本を投じて煉炭の製造を爲し居ることなるが平壤炭は之れを前記二個所の炭質に比すれば頗る優等なるを以て吾海軍にては本年度より使用する筈なれば武田少將等の同鑛業所長に囑託せられたるも此邊より胚胎したるなりと

發行停止の眞相

朝鮮日々新聞が東洋拓殖會社攻擊の記事を揭げたる爲め二回迄發行停止を命せられたる事件の眞相を取調ぶべく花井卓藏、村松恒一郞の二代議士は議會開會中なるにも拘はらず近々渡韓すべき旨某氏の許へ通報し來れりといふ

●**區裁判所の開廳期** 未設區裁判所たる漣川、金浦、鐵原、平昌、保寧、瑞山、沔川、牙山、報恩、陰城、甲山、順川、延安、平山、新溪、星州、晉陽、陜川、谷城、靈光、海南、鎭安、興德の二十三箇所は統監府司法廳開廳以前に韓國法部に於て新設することに決定したるものにして其經費も一區裁判所に付き二万四千圓を豫算しあれば帝國議會の協贊を待たずして開設することを得る故に當局者に於ては來る四月を以て全部開廳する豫定なりと雖も地方に依りては廳舍に充つべき建物なき所あり斯る地方に於ては廳舍を新築せざる可からざるが故に各地とも豫定の如く四月までに開廳することは不可能なれば便宜なる地方より漸次開設する方針なりと云へり

●**天一銀行株主總會** 天一銀行にては去る二十日午後二時より第七期株主總會を同行樓上に開會したるが出席株主委任狀共二十三名此株數七千八百十九株にして銀行長李鳳來氏開會の挨拶を述べ次で遠山支配人は逐一半季間の營業狀態の好成績を說明し終て大多數を以て左記配當案を議決したり

利益配當案

本期純益金三万四千五百九十七圓八十二錢也
此分配案如左

金五千圓	積立金
金八千五百八十一圓四十九錢	別途積立金
金一千圓	配當積立金
金四千七百五十九圓三十七錢五厘	配當金 年一割
金一千圓	重役賞與金
金一萬四千二百五十六圓九十五錢五厘	後季繰越金

●**朝鮮日日告訴虛說** 昨二十二日着の東京二三の新聞紙は朝鮮日日新聞社が東拓社より誹毀の告訴を受けたりとの京城電報を揭載し居たりしが今聞く處によれば右は東拓社に於ても其醜行を摘發されたるを殘念とし一時告訴の手續きを爲さんとせしも思慮ある某氏の注意に依りて之れを思ひ止まりたるに不拘耳早き御用通信員が之れを打電したるものなりと云へり

●**京龍市民の放出物** 漢城衞生會の調查によれば京城及龍山市民が日々放出する屎尿及塵芥の數量は實に驚くべきものあり今左に其數量を揭記せんに

一日の屎尿(京城 七百七十二石八斗六升 龍山 百十九石六斗八升八合)
一日の塵芥(京城 一千〇六石一斗三升 龍山 百七十四石五斗四升二合)

則ち之が經費は現に隆熙三年度決算によれば二十二萬八千八百四圓餘の巨額を要し使役人夫は一箇年延人員二十萬六百九十七人監督巡查は同上二萬六千九百七十七人を算せらる

●**我政府の鐵山經營** 載寧及殷栗の鐵山經營は本年一月一日より日本政府の經營に移りしことは既報の如くなるが枝光製鐵所は從來淸國大冶より二十萬噸韓國より五萬噸を輸入し以て製鐵の材料と爲し居ることなるが今次韓國政府との契約は個人の鑛山經營と同じく鑛區稅及び鑛產稅を拂ひて經營せるものなりと云ふ

●**裁判所廳舍の新築** 統監府司法廳に於ては本年釜山地方裁判所、光州地方裁判所の廳舍を新築する計畫にて今期帝國議會に提出したるが司法廳豫算中に右二裁判所廳舍新築費六萬餘圓を包含せしめたりと然れども經費の都合にて一ケ所を新築する場合には釜山の方を先きにする筈なりと

●**淸國居留地の設定** 韓國に於ける淸國專管居留地設定問題は日淸兩國政府に於て交涉纏まりたる由にて近く發表の筈なるが在京城淸國總領事館の陳通譯官は右設定地域協定に關する要務を帶びて昨二十二日統監府外務部長を訪問したりと云ふ

●**鑛業許可人國別表** 昨年十二月末の調查に依れば韓國に於て礦業の許可を受けたる者國別表如左

日本人三六五、韓國人一四七、日韓人合同三二、英國人五、米國人一四
日米人合同一、獨逸人六、佛國人二
日佛人合同一、伊太利人二

●**露國將校韓國視察** ハバロフスク豫備大隊士官ガルキン氏は今回釜山、京城、元山、城津、會寧地方を經て渾春に旅行する由を露國大使より外務省へ通知ありたるを以て小村外務大臣より相當の便宜を與ふべしと統監府へ通知し來れりと云ふ

●**渾春新稅關の開始** 淸國政府は今回渾春、龍井村の兩所に稅關を新設し龍井村稅關は既に去る十二日より徵稅を開始したる事は既報せし所なるが渾春稅關も本月十四日より徵稅を始めた由其筋に公報ありたり

●**外字雜誌記者來遊** 桑港に於て發刊する月刊雜誌「オバランド、モンスリ」の主幹ピー、エヌ、ヘリンジャ及び同記者シ、イ、ファガソンの兩氏は滿韓視察に來る由にて客月廿八日天洋丸に乘船桑港を出帆したりと

●**傳習所規則改正案** 本年度の豫算に伴ふ官立工業傳習所規則改正案は目下農商工部にて起草中

●**明石參謀長の出張** 駐韓軍參謀長明石少將は山根侍從武官と同伴二十二日平壤に向け出張したり

●**藤田軍醫部長歸任** 南韓方面へ出張中なりし藤田軍醫部長は廿一日午後八時二分大邱より歸任す

總裁に辭職勸告

(軍人有志の憤激)

東洋拓殖株式會社總裁宇佐川中將が會社總裁として適不適任なるやは別として苟くも現役中將の身を以て總裁就任以來不絕不德の行爲あるが如く世人の指彈を受けつゝあるは我駐韓軍の威信に惡影響を及ぼすものなりとなし某々硬骨の士主唱者となり在韓軍人中の有志一團より此程宇佐川男爵に向かつて總裁辭職の勸告を爲したりと云ふ

●**水產組合の決定** 朝鮮海水產組合組長は曩に岡十郞氏の辭職以來欠員となり居たるを一昨廿一日の代議員會に於て釜山理事官龜山理平太氏を組長に推撰して同氏の承諾を得たりと云ふ

●**仁川淸商晚餐會** 仁川在留の淸商は來る廿四日午後五時より中華會館に內外紳士を招待し晚餐會を催ふし餘興として支那演劇を一般の觀覽に供すと

●**武田少將の出發** 平壤鑛業所長の武田機關少將は廿三日中壤に出發の筈

●**任免辭令** 左の通り辭令あり

任大韓醫院醫官奏任三等 河野衛
農商工部技師 遊家充之
林業事務所同 中牟田五郎
依願免本官

●**仁川民長歸任期** 港灣視察の爲め歸朝中の岩崎仁川民長及び靑木商業會議所副會頭は去る二十日東京を出發したる旨或筋に電報ありたるが歸途熱田神戶、大阪等の港灣設備調查を爲し歸任の期は來る本月末日頃なりと云ふ

●**信夫理事官歸任** 領串浦方面沿岸航路の狀況及び附近の民情視察として出張中なりし信夫理事官は廿一日歸任

●**熊谷直亮氏歸朝** 令兄の訃に接し歸朝中なりし國民新聞特派員熊谷直亮氏は本月末迄に歸韓する筈なりと云ふ

●**遠藤技師の上京** 鐵道管理局遠藤技師は二十一日夜行列車にて東上せり

●**足立大佐の出發** 足立大佐は二十二日午前九時夫人同伴龍山出發赴任す

公人私人

△水田純孝(淸川警察署長)廿一日歸任
△細田左代吉(錦山區裁判所判事)同上
△村田折(三池炭坑理學士)廿一日入京
△谷快藏(伊川地方金融組合理事)同上

▲治外法權▼

今日は大儀ながらもサア一ッ東拓の事に就て書かう、尤も統監府は何でも東拓の事を書けば發行停止をするソーだが、統監府東拓監理官が有名無實の樣な今日發行停止位を恐れて書かぬ譯にはゆかぬ、ト前置をして書出すのは昨本紙に揭載した宇佐川總裁の醜話に就てゞある▲總裁の談に因れば驛屯土はまた引繼が終らぬ樣である、驛屯土の引繼とは株金の拂込と云ふ事である、會社が營業を創めて已に一ケ年未だ株金の拂込が濟んで居らぬとはハテサテ呆れたものだ、ソレワソート引繼ぎ土地の價格は畑一反步十四圓七十錢水田一反步三十五圓二十錢位との事だが、此評價の高い安いは別として引繼ぎに要せる費用の幾萬圓は誰れが支出したか、一体株主に株金を拂込ませる爲に會社が費用を負擔すると云ふ事はドコにも例が無いことだよ▲驛屯土の引繼さへ完全に了らぬ中に二千町步の土地の買入をしたのは何の必要からしたのか、之はヤッパり宇佐川流の錢儲からしたのであろう併し買つた水田の價が高きは三十圓安きは十二三圓とは驛屯土の價格とはチト違ふ樣だね▲移住の準備が聞いて呆れる、今頃東拓などの世話になつて來る移住民があるかい▲昨年中受取つた土地に對して目下各地に四班五班の社員を派して實測に着手中なりとはコリャ一体何事だへ、シナミリヤ受取るときに實測をせなかつたものと見ゆる株金拂込に拂込金を勘定せずして受取つたとはサテサテ暢氣なものだね▲漁業經營に付て本年は漁船五百艘位を入るゝ豫定だと云ふが誰れが前さん達に頭を挨れる爲に遙々來る奴があるかい、魚族物處理又は販賣の事は會社がやると云ふが之は淸國商人のボイコットを豫想せぬ愚案だ▲ト云つて居る傍から淸國漁船の通漁するもの千五六百艘あり、大に考慮を要すべきなりなど悲觀して居る、イヤハヤ無方針も茲に到つて愛憎がツキル▲金融部が目下二十萬圓許りを貸出しありて本年六七月頃には資金全部を貸付け了はり空敎手を束かぬることゝなるべしとは情け無い事だ、併し君には何にも擴張明案はあるまい▲拓殖事業之は面白い、只小註螺吹きの移入などに委かせて置て何が出來るかい▲韓國國勸業、コンナ物は政府がやるべきもので株主から成立つ營利會社がやるべきものに非ずだ▲出張所の數は中々多い樣だ、一体何の爲めに作つたのか、徒らに機關の膨脹を計るところドコまでも役人式だ▲餘りに調查部では相變らず各般の事項に付調查をして居ると云ふが總裁自身の休量が幾らで東拓社員が何の爲に月給を採るかの調查さへ未だ附かんで居るではないか、ナニ韓國の特產物たる事は度支部が疾ふに調查濟だよ▲沼々として總裁硬直が可なるが如しだコンナ二千餘官現役中將總裁宇佐川男爵の醜話は只ソレ彼れ自身の不適任と陋庵を廣告するに過ぎぬ、進英目下在韓我軍人の一團は宇佐川君に辭職を勸めて居る、イッソデも咽り付いて軍の名譽を汚がす氣かね。

韓銀管見錄

本日休載

▲**鳥致院通信**(二十一日) 地方に於ける例の係爭問題たる三南鐵道分岐點に付き客年十二月二十二日より同二十四日に亙る京城日報所載の大屋局長官談片の早くも關係居留民一般の驚愕憤怒となり之が眞相を促す爲め鳥に三南期成同盟會及西頭鳥致院總代より大屋長官に宛て再度照會せし旨は當時紙上に報ずる處ありしが去る十日付きを以て鐵路總務課長より回答に接したる由元より果して大屋長官の言明無責任にして不謹慎なるを認め日頃穩建なる態度にありし在留民の激昂甚しく又反對運動計畫中なる三南期成同盟會本部にては廿一日午前十一時より鳥致院俱樂部に於て總會を開き淸州公州鳥致院の各委員出席先づ大屋長官の言明は地方發達を沮害せるものと認め此際自衞上舞蔡を以て大々的之が反對運動を開始すること及び期成會は母國主務大臣に陳述する爲め委員を東上せしむること其他今後の運動方針を決議し散會せしは午後三時過ぎなりし

箏骨（十二）　桃陰

雲の名刺は夫れから夫れと三人の手へ廻された。六夫人は最う場を乗り取つた様な氣になつて居る。

「乾度妻を迎ひに來たんですよ」と誇らしく眉を顰める。

「吞海と云ふ男は……詩人の様に聞いて居たが」雲水は名刺を見ながら首を捻る。

「は然うなんです、新体詩とかを書く……妾し眞實に此の人は虫が好かないんですよ、それ妾が喧嘩を為た前の晩良人と一緒に遊びに往つたその片對手なのです」

「僕も滿更一面識の男でもない、兎に角會て見やう」と起ち上り、

「茶と菓子を持つて來い」と躍けてあつた羽織と脱ぎ替へて應接の室にと出て往く。

「詩人なんて彼んな者ぢやないわ」對座ひになると少し許り言葉が違つて來る。

「お酒を上る迄は可いが其の無遠慮な事と云つたら……」今更の様に其れが形容として六夫人は眼を見張る。

「隨分宅にも詩人とか云ふ人も來ましたけれど彼麼人つたらない事よ、皆然う神經質らしくつて遠慮勝なの」と夫人には竹馬の友と新に求められた友との區別がない、かず子夫人は茶の道具を取揃へて起立りながら、

「どれ怎麼人か見て來ませう」と起つて往く。

客なる吞海居士は五ッ紋で悠然と對座して居る、まだ挨拶の濟んだ許りの處と見えて話の要領はまだ切り出されてない、其處へ夫人が茶菓を手にして這入つて來た。至極叮嚀に兩手を突いて

「入仰しやいませ」

横から雲水が手輕るに、

「妻のかずです」と紹介する。

話の詩釋こそ尾久十君に爲て聞かせたが眼に觸るべき光榮を得たのは今日が始めてである。

「あゝ然うですか、僕は富樫と云ふ者です」と別に色も附けずに些度形許り禮を返す、ろして凝乎と其の顔を見た同時に美だと思つた、お六夫人とは較べ者にならんと思つた、性質も乾度美に違ひないと思つた、何故雲山は愚にもつかぬ競爭なんかは止して此の女の方へ取る[illegible]口喧嘩を自ら擱つた瞬にひよいと雲水と顔を見合せる、相變らず輕薄な風体を見るので……[illegible]かず子夫人は改めて叮嚀に挨拶をして出て往つた。

「して何か御要件でも……」とそれを機會として要件を問ひかける。

「は、少し困つた事が有りまして……今日は富樫二郎ではなくて花房透二の代理として[illegible]」

「[illegible]」と首肯く。

「外の事でもないですが……」

暴徒か強盜か

▲一軒家に來襲す [illegible]を夢みつゝ眠りに就きし眞最中頃七名[illegible]を提げて丁武七方に[illegible]前に張番し四名は室[illegible]の右太腿及び右足に[illegible]入所持の獵銃及び彈藥[illegible]走したる由

同胞の面汚し

▲韓人に撲殺さる 愛知縣生れの杉山悦三郎(三)と云ふは[illegible]生國にも住爺ね遂に[illegible]來り黃海道黃州郡高井[illegible]一家を構へ相變らず[illegible]を送り居しが去る七日[illegible]鄭聖奎(五七)の娘を甘々[illegible]拐し何處ともなく逃去[illegible]さは一方ならず早速黃[illegible]願を差出せしが越て十[illegible]しくも再び黃城村に立[illegible]鄭は十四日杉山方に赴[illegible]を取より早く此の野郎[illegible]を開始せしが聞まで[illegible]首を左右に托し要領を[illegible]歩りしが杉山は無法に[illegible]左眼にグサと突立たれ[illegible]き虚空を掴んで七轉八[illegible]を遂げしにぞ同行した[illegible]は憤怒し矢庭に杉山を[illegible]て手足を縛し有合ふ棍[illegible]び知れよと許り所嫌は[illegible]打し遂に死に致らせし[illegible]朝となりしが鄭と杉山[illegible]察署にて檢視の上夫々[illegible]たり

◎邦人獵銃者の遭難

▲負傷して掠奪さる [illegible]を營める淸水市郎(三)[illegible]爲め龍南郡光三面黃里[illegible]より北方四里の所に至[illegible]方に一泊し翌日の獲物[illegible]

●可哀相な小娘 只京城と斗りの名前さへも別らぬ山ふ小娘が一昨日午後六[illegible]の涙にて訴出でしよ[illegible]京城の某所に奉公し居[illegible]固より他人の家に奉公[illegible]は妾を養ふ譯にも行か[illegible]自分の兄弟が養子に行[illegible]を尋ねて小守女になり[illegible]り流車賃丈けを頂き當[illegible]の兄弟は何れの處に[illegible]判明せず役所に出勤す[illegible]要を掴むが如く捕てゝ[illegible]一度御飯を喫食べたの[illegible]減てドムならんと聞く[illegible]の念に斷られつ直に親[illegible]ふ役所に就て取調べた[illegible]るにどさる警官は自宅[illegible]き保護を加へ居れりと

●無粋な雇人 仁川新町力武楠米搗の雇人なる京都產れの淺倉佐一郎(二)と云ふは一昨日午後十時頃花町二丁目の韓妓店に登樓し山月と云へる娼甫を一夜一圓の約束にて揚げしが午後十一時頃に至り溫突內の奥氣に堪へ得ずされは到底辛抱し切れぬとて歸宅せんとし先刻與へたる一圓の內半分を返せと交渉したるも山月は一泊の豫定にて一旦貰つた金なり殊に歸ると歸らぬは主の勝手なれば一文半錢返金罷叶はぬとケンもホロヽの挨拶なるより日頭痾癪持の佐一郎は已れよくも吐かしたりと云ふより早く頭部を滅多矢鱈に毆打したる騷ぎに警官出張佐一郎の不心得を諭して引取らしめたりと

●本日の集會 ▲京城基督教會 本日の出町の同會にては本日曜日午前九時半より日曜學校同十時半より禮拜說教夜は午後七時より傳道說教あり其の演題は朝「靑春の信仰」米澤牧師、夜「福音の現實」同牧師▲日本メソヂスト教會 旭町の同會にては本日午前十時より聖書研究、十一時禮拜說教夜七時より傳道說教にして演題は朝「友なる基督」夜「エスを尋ぬるもの」「徑路」共に演士は木原牧師なり

●仁川娼妓の檢梅 仁川敷島遊廓娼妓六十九名に對し一昨日檢梅を行ひしが局部洗滌を要する者三名

●一昨日の新町 一昨廿一日の新町遊廓の遊客は八十七名にして費消金四百七十八圓〇一錢の水揚高なり

●一昨夜の敷島 同遊廓登樓客は四十六名にして消費高は百卅七圓也しと

歌舞伎座の盛況

▲連日大入札止を爲す 旭町歌舞伎座中村雁圓一座は初日入分の入りを爲し翌日より毎日大入札を掲げ一昨二十一日の如き雨天にも拘はらず九時過ぎ早くも滿員となりたり斯く同座が類例なき盛況を見るに至りしは元より仕打坂本の人氣と一は俳優の腕揃ひとに依るものなるが從來に比し値段の安きが尤も見物を引くに都合能かりしならん興行社會の考慮すべき事と信ず▲各俳優に就て言はんに雁圓は藝風其他眼光、容貌に至る迄で頗る妖艶なる性にて從つて彼れの爲す處悉く仇つぽくして見物には甚だしく愉快に感ぜしむる殊に踊りと淨瑠璃の素養は大に彼れの舞臺面を助けて居る併し澁味とか妻味とか云ふ點は甚だ乏しい彼の藝風は純大阪式とや云ふべけん▲次ぎに記者の光も意を得たるは中村梅女の藝風である彼れは立女形としては体も小に過ぎ容姿も決して優れたるに非ざるも其鎔揚迫らざる上品な藝風は慥かに一頭地を拔き出でたり▲中軸の眼若は荒五郎の高弟にして姿勢から調子さては動作に至る迄師匠ソツクリで大坂役者としては珍らしく澁味のある藝風で何時見ても飽く事がない、併し華やかな點を欠いで居るから大向の受けは元より宜くない▲雁三郎に就ては此程既に評した如く中々立派な役者であるが未だ〱修養の足らざる處も多く殊に顔で人を見る癖は甚だ宜くない今一層勉勵せば上達の餘地は充分ある▲一座中尤も調法な役者は菊三郎と吉藏である如何なる役をも引受けて相應に遣りてなす處は憎いものだ而して兩人共前途の望みは倘ほ洋々たるものがある益々勉勵を要す▲其他菊太郎と小文治は共に青年俳優で修養次第で如何共なる、殊に菊太郎は女形として申分なき顔かたちを有して居るが今一層作り等に意を用ひねばならぬ、早い話が眉毛の書き方抔でもイツも入字なりに書いて居るから憂いがゝつて見憎い時がある注意すべき事である▲小役の圓之助は將來望みを囑されて居るらうだが成程宜い處がある（もの字）

演藝

▲歌舞伎座 當座第七回目本晩の替り狂言は前「檜山騷動相馬大作」一代記「切「三勝半七酒屋の場」にして其の役割左の如し

尾崎秀之介後に相馬大作、嫁れその、茜屋半七(中村雁圓)大信妻れみさ(中村梅女 伊達三次、飯田市良太、親宗岸(市川岩若)津輕越中守、茜屋半兵衛(中村雁三郎)國貞木吉、娘れきみ、母たどく(中村菊三郎)庄や周兵衛、飯田市十郎(嵐吉藏)本吉女房れきぬ、みのや三かつ(中村菊太郎)百姓傳助(片岡富久治)津輕大膳(嵐壽太郎)下部惣助、川端勝藏(市川小文次)宿引助四郎、五人組傳右衛門(中村昇若)津輕左近將監(實川賀若)

▲壽座 同座今晩の替り狂言は一番目「菅原傳授手習鑑」二番目「鬱飛脚大和往來封印切」二場にして其役割は左に 舍人櫻丸、武部源藏、龜屋忠兵衛（阪東大之助)梅王丸、よだれくり、肝煎由兵衛(嵐芳之助)舍人杉王丸、女房八十作、傾城梅川(嵐金之助)齋幸鄕、百姓はる、仲居れひら(尾上梅枝)女房八重、傾城梅川(嵐金之助)北面の士清連、下男三助(市川鯉昇)金棒引軍藏(市川如孝)丞相息刈藻(片岡小蝶)女房千代、井筒屋れるん(市川猿志)藤原時平、白太夫、槌屋治右衛門(片岡蝶昇)丹波屋八右衛門(市川好猿)舍人松王丸(嵐鱗十郎)

▲京城座 同座は本廿三日より例の愛嬌者は田宮一座の新劇にて初日本晩の出し物は一番目「サアベル」全九場二番目「野酒」全三場にして其の役割左如し 旗團長林文吾(松村)屋夫人操子(堀江)魚や乙吉(本田)夫人千代子(桂木)屋の女中たどく(金澤)一等主計田藤桂之助(吉井)栗塚參謀官櫻川三光(高島)憲兵布良勝三(高山)車夫仙吉(兒島)步兵少佐屋勝久(美綺)小西夫人槇子、女乞食(三好)屋の令息勇夫 子役(亘)屋の屋丁勇助、大工八五郎(田宮)

▲仁川歌舞伎座 東谷活動寫眞にて好評を博したる同座は廿四日頃より例の伊東文夫一座乘込む筈なるが初日藝題は「潮」と定まれる由

▲平民文庫▼

▲頗る拙い女拳譜で浮舟生と名乘れる人より下の如き投書が來た投書の主も大方推し得られぬでもないが過ぎたる警察は無粹の行き止りだから、先方がドチで來たから、此方もドチで受けるドチとドチだから通り拔けは御自由である、が併し全文は長くて掲げ切れぬから少々訂正して丸目にブラ下げる甘く行つたら丸手拍子御喝采を願ふ▲櫻井町海山樓にツイ過日東京から來た小高さ云ふ美人が居る親切で愛嬌がある本名は杉つた子と云ふ相である彼れが斯う云ふ所に身を沈むるに至つた經歷と云ふものは實に悲慘な物語りがあるのだが夫れは兎に角として今では主人大切朋輩大切れ客大明神と陰日向なく身を粉にしての立回りは他の見る目にも快よい程である▲實に彼れは當京城花柳界に於ける女王である、海山樓は實に善い傭人を置き當てたものだ、樓主たるもの同人を粗末に取り扱ふに於ては罰が當るぞ▲苟も粹士を以て任ずる人士一度は觴を同樓に枉げ給はんことを切に勸告する▲以上が即ち投書の骨子である其の主の誰れなるかは讀者の判斷に任せする(風聞子)▲民團議員諸君に願ます京城市中飮食店料理屋仲居酌婦の税金昨年より一ケ月二圓と[illegible]

なり困却致し居り四十三年より引下一ケ月一圓さし全部鑑札を受けさせ鑑札願たき者も税金高き故に一ケ月のび二ケ月のび鑑札なき者牢數以上有之やに見受候右税金一ケ月一人前十二圓に引下げ願ます(料理店主人)▲記者先生每度相濟みませんが普通文官試驗(統監府執行)の試驗課目は何々でありますか又何の位の程度でムいますか御指敎を願ひます(準備生)▲れ答へする、撰文、書取作文、習字、算術(珠算)地理(外國、本邦)歷史(同上)憲法、行政、刑法、民法、商法、國際法、撰擇科目)程度は中學程度と知らるべし(係)▲各縣の新年會や懇親會は盛んであるが埼玉縣人の宴會はまだ一度も見た事がない一番奮つてどなたか發起になつて何か催しては如何でしよう(埼玉生)▲下獄の君を知れる男君の投書は餘りに長文にして加かも其人の姓名も知れぬから沒とする(係)▲市內某書生君の投書は月曜日の紙上に掲ぐる事にした(係)▲年三十五才普通敎育あり裁縫一切に上達且つ育兒の經驗もあり良家の家庭の上女中若しくは裁縫專門として雇はれたし(姓名在社)

●天氣豫報（自廿二日午後六時 至廿三日午後六時）

北西の風晴溫度降ル

廿一日（華氏）最高溫度 三七、〇 最低溫度 三二、四

廣告

第七期營業報告

貸借對照表

負債之部

科目	金額
一、諸預り金	六〇三、五一一・二六
一、仕拂送金爲替手形	三、一二七・六三
一、他店より借	三、四四〇・〇〇
一、資本金	五〇〇、〇〇〇・〇〇
一、政府貸下金	一八〇、〇〇〇・〇〇
一、諸積立金	六九、二一八・五〇
一、配當未濟金	五五〇・三四
一、本季純益金	二〇、九一七・四七
一、前季繰越金	一三、六八〇・三五
一、假受金	二、五〇〇・〇〇
合計	一、三九四、七九二・二六

資産之部

科目	金額
一、諸貸付金	三七六、二九二・〇二
一、割引手形	三五五、九六四・八一
一、有價證券	二四、二四一・二五
一、他店へ貸	一四、五七七・六四
一、預け金	一八七、一一二・四七
一、拂込未濟資本金	三七五、〇〇〇・〇〇
一、營業用地所建物	二〇、二六一・一〇
一、營業用什器	二、二九五・二〇
一、假拂金	一、一九三・三〇
一、金銀在高	三七、八五四・四七
合計	一、三九四、七九二・二六

損益

一金二萬九百十七圓四十七錢 本期純益金

一金一萬三千六百八十圓三十五錢 前期繰越金

合計金三万四千五百九十七圓八十二錢

此分配計算如左

金五千圓 積立金

金八千五百八十一圓四十九錢 別途積立金

金一千圓 配當積立金

金四千七百五十九圓三十七錢五厘 配當金（年一割）

金一千圓 重役賞與金

金一萬四千二百五十六圓九十五錢五厘 後季繰越金

右の通り相違無之候也

株式會社 大韓天一銀行 支配人 遠山凞

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小僕入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店

●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店

●寫字並室内製圖熟練の者至急御依頼に應じ度し望の方は下名へ 太平町二丁目廿三番戸 岸田

多少法科事務並に韓語の心得ある二十歳前後の書生一人雇入たし 姓名在社

物件部

●貸家 西大門内佛國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 同所清水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●老舗讓渡 本町一丁目目拔の場所多年資込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

三一館
京城本町五丁目 易斷觀相教授 館主 土御門派陰陽師

●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番
馬車配達 ●●●衛生と消毒●●●

中島醫院
入院隨意 京城壽町三丁目（電話三七八番）
院主醫學得業士 中島貞信

入院隨意 營醫院
京城西小門通六番戸
電話改番 一三一五

待合

營業擴張廣告
土地家屋並商品擔保に
右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質企業
京城竹園町二丁目 樋下田本店（電話九三二番）
京城相生町（南大門通魚市場東裏） 樋下田支店（電話一四三九番）
龍山南水町六十三番戸 樋下田支店 電話四〇四番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
辯護士 岡田榮
京城旭町一丁目六十七番戸（電話三九八番）

まわた製
くつさき 毛布 たびさき 防寒用各種
かいき まわた類
如何なる小さき足袋を用ゆるも差支なし
代理店 京城本町一丁目（長谷川町へ通る） 栗永商店

神戸養生分院
京城梅毒病院
◎花柳病專門並、痔（注射療法）
●入院隨意●
京城相生町（南門掛橫）
院長 醫學得業士 鷹田耕平（電話一二九四）

東京 足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京 京城大和町一丁目（日の出橋際） 大和屋 藤井出張店 電話一二百〇五番

齒科治療
本町六丁目 ドクトル 中村安子（鍛そば横町）電話一五八三番

産前 産後 月經不順
中將湯
PREPARED BY TSUMURA
CHUJOTO
本舖 東京 津村順天堂

上等石炭各種 並に無煙炭販賣
京城本町二丁目 林田交換所（電話六十五番）

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
統監府裁判所監獄署警察署 法規提要
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帯便利
●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判上製〇定價金六十錢

本誌は發刊以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し……官制、官規、等の現行法規として其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日を作して臨時記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微意に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付けられ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日
京城 日韓印刷株式會社出版部

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前） 電話三五四番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計御商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計御小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室（皮膚病黴毒泌尿生殖器）奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒痳病膀胱病生殖器機能障碍の診療に從事
診療（午前自八時正午迄 夜間自五時九時迄） 入院隨意
南大門通三丁目 支那領事館前通 京城郵便局後 電話一七三番
院主 佐藤[illegible] 佐藤皮膚病院

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
大上商店
京城本町五丁目
和洋酒、罐詰、乾物類、穀物麵類、銘茶、米糀、ビール、塩辛、日本食鹽荒物食料雜貨特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候各種（電話二五一番）

外科 内科
梅毒痳病專門 戸田病院
京城御成町南大門外一丁目 電話番號九三八番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館（電話一一一五番）

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋旅館横へ入る）
待合 醉月 電話二六五番

表具師
美術書畫 襖、壁、天井張
京城壽町二丁目 桂萬吉（電話六二七番）

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候
電話一三八二番

新漬大根大賣出
◎新漬澤庵◎白菜漬◎奈良漬
官製種元賣捌。農蠶器具一式。肥料。種苗。薪炭。日用雜貨。家具。工業農業消毒用藥品一式
農商工部園藝模範場御下品
諸官衙御用達 京城本町一丁目（長谷川町筋） 三輪商會 電話三八六番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾萬圓
株式會社 十八銀行 京城支店 京城南大門通（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山 仁川、木浦 釜山、元山 羅州、群山 韓國
大阪、熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理（十八銀行京城支店）

★株式會社百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野
東海道 住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 岐阜、大垣、長濱、大津、八幡、彦根、前橋、伊勢崎、宇都宮、青森、秋田、能代、土崎、松本
北陸道 福井、敦賀、小濱、金澤、高岡、富山、伏木、新潟、大聖寺
山陰道 米子、境、松江、久手、大田、鳥取
山陽道 岡山、姫路、西大寺、玉島、龍野、高松
南海道 和歌山、新宮、岡山、牛窓、味野、岩見、田邊、御坊、本、串本、下関、萩、徳山、小郡、長府、柳井、府中、尾の道、三原、東島、岩國、山口
西海道 尾鷹、福本、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、伊萬里、牛津、長崎、佐伯、別府、大分、宮崎、鹿兒島、佐賀、熊本
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川 瀛船出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月十一日後三時出
●大連行 相模丸 二月十五日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行 酒田丸 二月三日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 一月廿六日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送迎可申候